

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆地方移転企業の減税拡大 政府、投資や雇用後押しへ

・政府は企業の地方移転を促す税制優遇制度を拡充。本社機能を東京23区から移す場合などの法人税の減税を広げる方向で検討。地方での投資や雇用の拡大を後押しする。近く閣議決定する経済財政運営と改革の基本方針(骨太の方針)に盛り込む。「税制の活用も含めた環境整備による企業の地方移転や拠点拡充を促進する」と明記。

◆食品高で景気足踏み 4～6月のGDP、横ばいの予測

・コメなど食料品の価格高騰が景気を足踏みさせる状況が顕著。日本経済新聞が9日、民間エコノミスト10人にアンケート調査したところ、4～6月期の国内総生産(GDP)は物価変動の影響を除いた実質で予測平均が前期比0.0%減、年率換算が0.1%減だった。消費を支える持続的な賃上げが成長を左右する。

◆能登半島地震の復興状況、国交省が報告 地域・個別の支援拡充

・国土交通省は現在の能登半島地震からの復旧・復興状況と今後の見通しを公表。能登半島地震では、被災後の9月に記録的な豪雨が発生し、水害や土砂災害によって甚大な被害が出た。住まいの再建支援のうち応急仮設住宅では、豪雨で被災した218戸の修理を含め、必要戸数6882戸のすべてが24年12月26日までに完成した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆5月の工作機械受注3%増、8カ月連続プラス

・日本工作機械工業会(日工会)が発表した5月の工作機械受注額(速報値)は前年同月比3%増の1287億円。国内向けは減ったが海外向けは増えた。全体のプラスは8カ月連続となった。日工会の担当者は「先行きに不透明感があるなかでは高水準と評価している」と述べた。国内向けは5%減の330億円と2カ月連続のマイナスだった。

◆マンション建築費、5月も過去最高 生コン値上がりで

・建設物価調査会が発表した5月の東京地区の建築費指数(速報値、2015年=100)は、マンション(鉄筋コンクリート造)が137.2と前月比1.0%上昇し、過去最高を更新。原材料費や人件費の上昇を背景に生コンクリートが大幅に値上がりし、建築費を押し上げた。マンション価格の上昇圧力になる。

◆建設現場の39%「残業月45時間超え」 罰則付き規制適用でも割合高く

・建設業で時間外労働の罰則付き上限規制が2024年4月に適用されてからも、規制の残業時間を超過する工事現場はなくなっていない。日本建設業連合会(日建連)は会員への調査結果として、残業時間が規制の原則ルールである月45時間を超えている建設現場が39%あったと発表。解決策として生産性向上の加速を発注者側に要望。

《 注目商品 》

■パナソニック、「おひさまエコキュート」に寒冷地モデル

・太陽光で発電した電力を給湯に使う「自然冷媒(CO2)ヒートポンプ給湯機 おひさまエコキュート」に「寒冷地モデル」4機種を追加して7月10日に発売。太陽光発電と組み合わせることで、昼間の余剰電力を自家消費してお湯を沸き上げる。



■エービーシー商会、アクリル系人工大理石コーリアン®製洗面ボウル

・高級感あふれる色柄と質感が魅力の洗面ボウル。9色のカラーバリエーションと2つのサイズをもつ新しいシリーズで、石目柄や流れ模様、コンクリート調など上品でシックな色柄を中心にラインアップ。排水部分をボウルと同素材の排水キャップで隠し、より統一感ある洗面空間に。



■LIXIL、内窓「インプラス」に新色+浴室開き窓を追加

・リフォーム内窓「インプラス」のラインアップを拡充。居室仕様には新色の「プレシャスホワイトP」を追加。既に取替窓の「リプラス」では展開している色で、今回「インプラス」にもラインアップすることで、同一カラーによる一棟提案が可能に。

